

## 2024.03.26 シニアクラブ Online 会合報告

春分が過ぎたとは言え、春本番にはいまいちの感あり、雨の降る寒い日となりました。戸外のイベントなら参加も躊躇してしまうかもしれませんが、そこは Online の良いところ。いつもの顔ぶれが集まりました。先月の報告では暖かい2月で、このままいけば桜の開花も早まるだろうと書きましたが、期待は外れました。桜の開花が遅れています。



いままでこの会では何回も東海道五十三次について浮世絵を眺めてきましたが、今回はピンポイントで大井川について触れてみたいと思います。水量が増えると「越すに越されぬ大井川」と言われた昔ですが、大井川の水量が減るとの理由でリニア新幹線のトンネル工事が差し止めとなっている現在の様子から先ずは見ることにしました。

大井川は南アルプス白根3山の一つ「間ノ岳」の直下を源流として静岡県内をほぼ北から南に向かって流れています。その川の流れやリニアのトンネル工事位置などを地図上で確認するとともに Google Earth で周辺の山や川の様子を眺めました。川は深い谷間を蛇行しながら流れ、途中に設置されたいくつものダムを見ることができます。

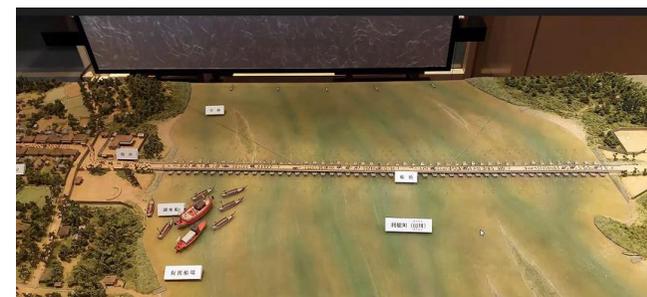


Google Earth 画面上にそれらをプロットしていくと左図のようになりました。南アルプスの深い谷間を大きな落差をもって流れる水が持つエネルギーはいたるところで発電に利用されてきました。その結果、川下では水が枯れて石ころだらけの賽の河原と化し「水返せ運動」が起きるまでになってしまいました。



浮世絵に描かれた大井川とは全く違う川に現在なっているようです。

・宮田さんから徳川将軍家が先祖家康の墓参で日光に行くとき、途中の大河 利根川をどのようにして渡ったか、古河歴史博物館の展示資料を基に紹介がありました。広い川幅の利根川に51隻の船を川上に向けて並ばせ、しっかりと固定したうえで板を渡して「船橋」を設けたとのこと。幕府の都合で多くの川に橋が架けられなかったために、



庶民は随分と不自由な思いを感じていたことでしょうか、本人はいい気なものです。こうして楽に川を渡っていくなんて・・・。

・浅見さんから「春の歌」の紹介がありました。これで間違いなく春本番になるでしょう。 <https://youtu.be/GvLvLGoRtiE> 参照してください。